

山下では
こんなすてきな取り組みが！！

山下地区エリア別 “防災データマップ”

事務局 佐藤さん(山下地区社会福祉協議会)に伺いました。



山坂が多くて交流センターまで歩けない！コミュニティハウスまで遠い！だからこそ、ご近所で居場所を作りたいし、声をかけあいたい、そんな思いがご近所をつなげる・再発見する「防災マップ」になりました。

きっかけは？

住民が顔見知りになって、声をかけあったり、近所で集まれる場所をもっと増やしたい！

どうやったら、歩いていけるご近所同士で居場所づくりをしていけるようになるかしら？

取り組みの特徴は？

足で歩いて集めた情報満載の「防災データマップ」

- 7つのエリア別だから、わが家の周りの情報が分かりやすい！
- 「災害時一時避難協力施設」を足で歩いて募ったから、学生寮や幼稚園、保育園、お寺なども協力してくれることに！
- マップ配布がきっかけで地区社協や自治会の認知度が向上した。



今後は？

体操やスポーツ吹き矢などを近所の自治会館でやって顔見知りになろう！

旭区の若葉台地区でやっている「あんしんカード」の導入に、この地区でも取り組んでみよう！

ボランティアやたすけあい活動の連絡先や相談窓口ができないかな？

山下地区ならではのアイデアと
取り組みがますます期待されます！

そうだ！ 災害時に使える、山下ならではの情報をあつめよう。それを歩いていけるエリア別のマップにして、ご近所を再発見してもらおう！

東本郷では
こんなすてきな取り組みが！！

“東本郷ばらの会自治会 自主防災組織組成”

災害対策プロジェクトチームの
遠藤さん、式見さん、林さんに伺いました。

大地震は30年以内に確実にやってくる…と報じられている中、ばらの会では2年前よりプロジェクトチームが中心となり防災体制の組織化が進められています！！

きっかけは？

自治会の対応には限界があり、地域の助け合いで災害時の人命の安全を確保しよう！！

お互いを知り合うことが助け合いの第1歩！！
どうすれば顔見知りになれるかしら？

そうだ！ 隣人祭り(※)の考えを防災に活用したらどうだろう！

(※)お祭りを企画することで、同じ地域に暮らす人がより良い人間関係をはくぐむための取り組みのことを言います。

取り組みの特徴は？

- 防災ボランティア、防災連絡員の募集に専門職の方々からも参加の手が挙がり、ボランティアさんの裾野が広がりました。
- 「向こう三軒両隣り」の考え方を取り入れ、お互いを知り合うための新たな組織をつくる(道路を挟んだブロックで新たな班を編成するなど)ことで、日常のコミュニケーションを大切にしながら顔の見える環境づくりが進んでいます。
- 新たな班で顔合わせ会を行ったところ300人を超える参加(初めて自治会館に来たという若い夫婦など)があり、「みんなで防災に取り組もう」という機運が高まっています。



こんなにたくさんの人が集まりました。

今後は？

山登りで言うと、7合目まで来たところ？
これからの重要！

これまでは図面上、これからは具体的な動きを検討し実行しよう！

ブロックリーダーが組織の要、リーダーの力量アップを図ろう！

「東本郷ばらの会」の
熱い取り組みが続きます！

白山では
こんなすてきな取り組みが！！

“メゾンヴェルト地区 地域合同避難訓練”

事務局 桑原さん
(社会福祉法人 同愛会 ケアホーム森の泉)に伺いました。

今年度で第6回を迎える地域合同避難訓練で、3箇所の施設からメゾンヴェルト(特別養護老人ホーム)まで、災害時要援護者と地域の支援ボランティアが避難する訓練を行っています！！

きっかけは？

- 地域の方と障がいのある方、施設職員の交流を図りたい！
- 災害時に職員だけでは避難できない！

イベントなら七夕会かしら…？
クリスマス会かしら…？
興味をもってもらえるかしら？

避難訓練の様子は？

白山緑消防署が手を挙げ、白山地区民児協が手を挙げ、白山緑自治会が手を挙げ、近隣の施設が手を挙げ、緑区社協が手を挙げ、
こんなに賑やかになりました。



今後は？

車イスの操作を屋外で学ぼう！
炊き出しをやろう！

障がいのある方とのコミュニケーション方法を学ぼう！

本物の消火器を使ってみよう！

たくさんのアイデアが生まれています！

そうだ！ 防災訓練だったらどんな人にも共通のテーマだわ！



桑原さん

みどりのわ・ささえ愛プラン

緑区 地域福祉保健計画・地域福祉活動計画

計画期間
第1期 平成18～22年度
第2期 平成23～27年度



地区別計画

区内11地区で策定に着手します

みどりのわ・ささえ愛プランとは…

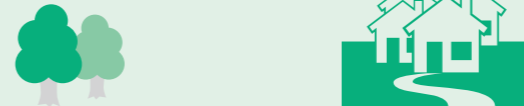
緑区民と緑区役所・緑区社協協働の一体計画です。緑区民みんなの手で、ともに支えあう街づくりをすすめるための計画です。平成23年度から始まる第2期計画では、第1期計画の内容を踏襲するとともに、区域と地区別の双方で緑区全体の福祉の充実を目指します。

地区別計画とは…

日々の暮らしの中で起きている“福祉・保健”課題の解決にむけて、生活の場を共有する、「連合自治会・地区社協エリア」の11地区ごとに、地域全体で検討し取り組むための計画です。

地区別計画の策定は…

地域の皆さんと行政・福祉関係機関(区社協・地域ケアプラザ)が、より住みやすい街づくりを目指して協働して取り組みます。



具体的には…

今回、みどり21号でご紹介した防災への取り組みも含め、すでにある活動や事業にさらに力を注いだり、新たな事業に着手したり、計画の策定・推進を通してより住みやすい街づくりを目指します。お住まいの地区の活動にぜひ注目してください。